

国土強靱化に係るワークショップの報告

(平成27年12月19日(土)@東御市中央公民館講堂)

【ワークショップの目的】

市民を交えてワークショップを実施することにより、災害に対する意識の向上と「起きてはならない最悪の事態及び想定される発災事例」の多様な視点からの洗い出しをしました。

【実施状況】

参加者 区長、消防団・民生児童委員・日赤奉仕団、地域づくり関係者(約50名)



会場の様子①



会場の様子②



ファシリテーターによる講評の様子

講評のポイント(ファシリテーター 鍵屋跡見学園女子大学教授・元板橋区役所)

- ①地域内の連携(決め手は「ご近所力」)
- ②災害に対して事前に準備することで被害は激減(災害に勝つべくして勝つ)

【主な意見】

○田中地区

- ・河川の氾濫による水害及び大雨時の雨水流入
- ・千曲川氾濫による田中橋の崩壊による孤立集落発生
- ・住宅密集し、道路が狭隘であることによる家屋延焼

○滋野地区

- ・孤立集落の発生(孤立を予防する代替経路が必要)
- ・情報伝達経路の寸断(情報通信機能の多重化が必要)
- ・医薬品・食糧・飲料水等の不足

○柵津地区

- ・情報伝達経路の寸断(情報通信機能の多重化が必要)
- ・孤立集落の発生(孤立を予防する代替経路が必要)
- ・地域における危険箇所の点検監視体制の構築

○和地区

- ・河川未改修箇所の破堤
- ・大地震等による送電線と鉄塔の倒壊
- ・都市ガス等の破断により発生する火災・延焼等の被害

○北御牧地区

- ・幹線道路の寸断
- ・被災時のため池の安全性確保
- ・雨水流入による冠水(側溝などの水路の整備)

ワークショップを踏まえ、下記の観点を追加して検討を実施

- ・電柱類の倒壊による人的被害の発生
- ・都市ガス等の破断により発生する火災・延焼等の被害
- ・情報伝達経路の多重化の促進
- ・地域における危険箇所の点検監視体制の構築